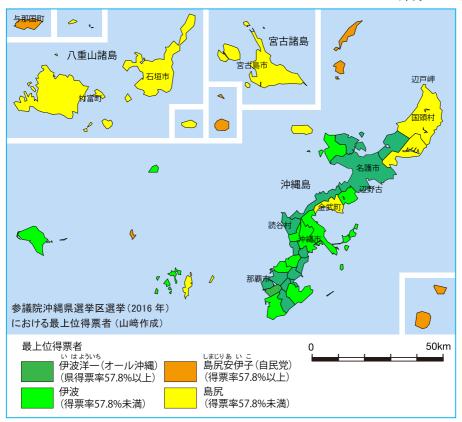
特集:地政学を識る

# 「地政学」から沖縄県政をとらえる 山崎孝史

(本文 38 ページ)



### 辺境の保守化

2016年に実施された参議院沖縄選挙区選挙では、2014年 に実施された沖縄県知事選挙にひきつづき、米軍基地が集中 する沖縄島において,名護市辺野古での新基地建設に反対す る政治集団「オール沖縄」候補への支持が対立候補を上回り, 沖縄島北部と先島諸島(宮古・八重山諸島)を含む離島部の 多くで、基地建設を容認する保守系候補に支持が集まるとい う地理的パターンが見られた。また、この選挙では、先島諸 島や離島部を中心に, 人口減少が進む自治体ほど保守票が伸 びる傾向が確認された。こうした県内格差は、各島・島内地 域の住民が期待する県施策の優先度に差異を生み出すと考え られる。右の表からわかるように、沖縄島内地域では米軍基 地問題解決の優先度が高い傾向にあるのに対して、宮古・八 重山諸島では離島・過疎地域振興の優先度が高く, これらの 島々の間で住民意識の構造、つまり「場所の感覚」が強いコ ントラストを示していることがわかる。

沖縄県民による地域別重点施策の 優先度 (2016 年)

度儿及(2010 午)								
地	域	米軍基地 問題の解 決促進	離島・過 疎地域等 の振興					
沖縄島	北部	12.6	0.9					
	中部	13.0	1.0					
	那覇市	12.5	2.1					
	南部	13.0	2.7					
宮古		4.4	14.0					
八重山		3.9	18.5					
県平均		12.2	2.7					

注:各スコアは回答者が選んだ上位3つの 施策にウェートをかけた平均値。

出典:沖縄県企画部『第9回県民意識調 **查報告書**』(2016)

# 特集◎地政学を識る

# 地政学」から沖縄県政をとらえる

地政学

政治

地 理

など

# 山﨑孝史

ストモダン理論に依拠する批判地政学を含み、古典地政学代には「新しい地政学」と呼ばれた流れがある。1980年が少なくない。しかし、欧米(特に英語圏)の政治地理学が少なくない。しかし、欧米(特に英語圏)の政治地理学政学(戦前の地政学論)の観点から国際政治を論ずるもの政学(戦前の地政学)書には、古典地

> とらえ直す方法を示す。 点を超えて、「地政学」を政治地理学的な分析概念として点を超えて、「地政学」を政治地理学的な分析概念としてば、本稿は、もっぱら国家の動態を論ずる古典地政学の視ば、本稿は、もっぱら国家の動態を論ずる古典地政学の視されを左右するかを理解する見方を提示する。言い換えれ

る政治的実践としてとらえ直すことができる。 地方からグローバルに至る多様な地理的スケールで展開す 地方からグローバルに至る多様な地理的スケールで展開す なわち「土地の支配や管理をめぐる政治的実践」と再定義 なって「地政学」を、国家の動態に限らず、 なって「地政学」を必然的実践」と再定義 なってでまず、「地政学」を単純に「学」とみなすのでは

家の地理的位置から決定論的に説明できる政治事象は限らルチ・スケールの視点が生まれる。この視点に立てば、国ここから、政治事象を重層的なスケールの中で考えるマ

用するのは、こうしたマルチ・スケー 済的諸力の 口 チである ·相互作用を考える必要性に迫られる。 多様なスケールで展開する政治 ル の 政治地理学的ア 本稿 が採

れていることが

わかり、

経

は、

# 1 マ ルチ・スケール 0) 政治地理学

ニューの ーチであ 中で提起された一つの視角が、 負 の遺産 戦後 理論的 (特に英語 る。 の克服は、 **「場所の政治」論について考える。** ・方法論的な問題として検討されてきた。 本稿ではそうした視角として、 巻 それを単に否定して忌避するのではな の政治地理学における「地政学」 マルチ・スケールのアプロ ジ 3 その アグ 0

政治的表出と考えられる。

1

ル」で発生し、

民族・人種主義という「場所の

/感覚

用をもたらす環境を意味する。 会学的内実」、つまり場所で日々反復される社会的 した。「ロカー 置 location」、「場所の感覚 sense of place」から概 るために、「場所」を3つの要素、「ロカール locale」、「位 アグニュ 政策の不均等な影響、 1 は局 ル」とは場 |地的な場所に展開する政治事象を把 ③所の構造化された「ミクロ 「位置」 社会集団 とは、 の棲み分けなど 不均等な経 念化 な社 互作 握 ず

> ルな移民流動の中に「位置」する先進国都市とい ヨーロッパ諸都市で確認される移民排斥運動は、 会心理的要素との双方に関わるという点である。 というマクロ・ 指向性、 場所の政治」 場所で生活することによって生み出されうる主 あるいは局地的な「感情 スケールの要素と「場 論で重要なのは、「ロカー の構造」 派の を指す。 |感覚||という社 ・ル」が ・う「ロ グロ たとえば 位 Ì 的 カ な

れは、 の動向まで理解することを目指す。 はなく、 そのメカニズムを解明しようとするアプローチである。 経済的秩序と人間の集合的 スケールで発生する政治事象を、 つまり、マルチ・スケー 古典地政学のように、 そうした動態に影響を受ける ルの政治地理学とは、 意識との関わりの中でとらえ、 国家の動 マクロ・スケール 態だけを論ずるの 与える地方や集団 ミクロ の政治 そ

# 2 神 縄 0) 場所 Ø)

態を考えてみよう。 ア グニュー Ó 場所の政治」 沖縄県は日本の南西端に位置する島嶼 論を用いて、 沖縄県政 0

39

マクロな秩序」

の影響を示す。

そして

場所の感覚」と

県で、

か

つての

琉球

Ě

国の主要部分を構成する

议

广、

地

れ 米軍占領・ 0 によって政治経済的 域名とし は 意義を再認識したからである。 とり 東アジアでの冷戦の拡大に対 て ゎ 統治によって、 け ĺ 沖 9 4 縄 5年 に周辺化された を 苚 0 4 米軍 沖縄 . る。 基地 戦 近代以降 か 5 して、 が 位置 沖縄 1 9 7 2 年 0 に 集中 国 に置かれ 沖 が 縄 した。 在 -まで続く は、 沖 米軍 てき H そ 本

すため 状列島の 洋 玉 示してい 期 の表現 の要石 ることになっ 会 かか のものであった。 留 を沖縄 沖縄 れることによって、 世 は、 (共産圏に対する) Keystone of the Pacific 論 0 しかし、 沖縄が、 Ė の住 地政学的 たの |本政府、 |民に納得させるためというより であ こうした沖 東アジア・西太平洋地 むしろ住民は、 位置 そして西側 戦略的中心に位置することを 事 故や人権侵害など苦難 を示す表現として「太平 縄 が 0) 頻繁に 位置 国際社会の 異民族 づ 用 け 域 に伸 0 は 11 軍 同 5 意 事 米 Ü れ た。3 る弧弧 に晒 統治 を促 軍 米 Ó

織

補償 闘 どを訴えた。

続く沖縄住 たのである。 の軍事要塞化に抵抗する論理とし 位置づけられ は日本であり、 土地と生活を守 といった表現に変わる。 権利問題を超えた日本の国 争の 中で、 民の本土 その た。 るし、 住民 底 遖 )まり、 闘争は 復帰願望で 流 0 にあっ 国土 主 張 米国 を 日本の領土と民族を守る運 は ここで言及さ た あっ 民国 0 の東アジア戦略 坪 祖 もア が て、 国と民族を守 た 家 米軍 ゚メリ 1 9 0 侵害と再定義 カに売り渡さな 5 れ 0 + る 0 地強制 に伴う沖縄 年 り全県 初 祖 頭 接収 動 民 か

を、

てら かっ で米軍 が実現する。 ざれ は み削 的 1 た。 叶えられ な復帰運 9 n 中の継続 た た 減という沖縄 60年代になると住民の復帰願望は その悔り か 祖 ら窺 ず、 駐 動が展開され しかしそれは、 玉 恨 留 復 日 の念は、 を前 1/2 帰 \* 側 知 闘 国家権 n 0 提とし、 争 碑 る5 願 た結 1976年に国 1/7 に 力 冷戦構造と日米安保体制 0 必ずしも沿ったもの 核兵器の撤 果、 0 刻 恣意 文、 1 972年 のまま軍 県 頭 民 去と基 0 村 層 平 事 辺 に 高 逦 ヺ٤ 本土 まり、 強 和 岬に ではな 0 本 復 建 組

並

1/2 復 帰 復帰 運 動 後の の熱望が 反基 日米両 地 運 動 元に引 玉 か き 5 継 裏 が n 切 6 7 77 n た ζ という 崽

の強

であ

つ

この

は

1

9 5

6

车

に

多く

用 1/2

0

É

0

は

米軍

0

拡

張と増設に伴う

私

有地

させた。

住

民側

は米軍

甪

地

料

括払 争 接収

1/2

0

反対や土地

0

適

住

が 接 初

加 収 期

わる大規模な土

地闘 強制 基地

「島ぐるみ闘

争

を惹起

基軸 縄住民が る運動と政治が、 言える 抱き、 つを構成し 現在も引き継がれ 復帰後(さらには冷戦 ていく。 この思い てい は、 る 後 当時 場所の の沖縄 の多くの が感覚 県政 لح 沖 0

日米両国

が利点と考える沖縄

の地

政学的

位置」に対

抗

す

権者の支持が保革の間を揺れ動いてきたことを示す。 ヴ 確 後 定間 な政治 では 実施された県知事選挙を例にとれば、 イッジの全県的傾向 実施によって、 の沖縄政党の本土 隔 「ロカ でのスイング 的クリー ール」はどう理解できるのだろうか。 ヴ 沖縄県政内に保守と革新の対立という明 1 |政党への系列化と復帰後の民主 は ッジ (当選者の交代)として発現 1972年 (亀裂) が現 から20 保革候補の間 ñ 37 この 10 年まで 的 復 クリー この での 選挙 帰前 有

を示す市町村が見られる。 位 が 村では多様で、 市 <u>:</u>町村) かし、そうしたスイングは、 (金武町など)、そして県同様のスイング での投票行動 類型的 比較的 に は、 の総計である。 貫性のある投票行動を見出 革 新 優位 さらに小さなスケ (読みたん村、 基地を抱える など)、 (沖縄市など) 保守優 すこと ĺ 市 町 ル

> の政治」 用地料、 としてとらえる理論的視角であ の表出)と考えられる。これが沖縄県政を 治経済的に評価 生活上の利害・社会関係 言い換えれば、 在なども、 経済的対 治体との歴史的関係や有権 こうした地域差が発生するのは、 的に負荷された米軍基地 の理 価 軍雇用、 有権者の選択と関わっているからと考えられ ある 解 個々の有権者は、 抜きに沖縄県政を一 基地に関係する補助金など基地受容 7 投票行動に反映させる はそうした対 者の政治的態度のみならず、 「位置」 カール」の環境) ŋ 日米 価を上回る代替産業 括りに論ずることは適 地域的に多様な 近接する米軍基地 一両国によって「地政 の問題) 「場所の政治」 (「場所の感覚 を、 の中で政 「場所 と自 Ó

# 3. 「場所の政治」の変容─辺境の保守化─

ととらえてよかろう。

ような投票行動も、

有

権者の複雑な

「場所の感覚」

0)

発現

切ではない。

み出すマクロな秩序は変容し、 は決して永続的なものではない。 る以上、 的 相 場所の 互作用の反復を支える)「ロ 政 定の持続性を持つと考えられる。 治 は、 構造化され ミクロで主観的な 力 た なぜなら、「位 ール」を基 つまり日 しか 開的 一礎として .置」を生 場 それ 新の

島

諸

島

を含む

離

島部

の多くで、

基地

とが理解 土地闘 感覚」もそうした秩序を揺るがしうるからであ 争や 復帰 運 動 など 動 態的 な政治過 程を見 れ る ば そ 沖 縄 0

ロギー 新基地 復帰後から継続 考えてみよう。 現 そうし (知事) 建設に反対する 的 た沖縄 差異を超えた候補 である 20 県政 した保革 1 0 変容 政治 4 対 车 が出 立 に に実施され 団 0 つ 図式 馬した。 13 オー て、 が 崩 た沖 近 ル 名護市 沖縄 n 年 1縄県知 0) 保革の 選 の翁長雄志の翁長雄志 挙 事 選 イデオ 果 一挙は か ら

治の保守化と自

「衛隊誘

致が進行している。

その結果

れ た<sup>©</sup> 島は沖 挙では従来とは異なっ 結果、 すなわ 候補 (宮古 翁長は大差で当 ち の支持が対立 八重点を 軍 基地が集中する沖縄島での た投票の地理的パ 蒔 Ó 候補を上 現 職 候補を破 口 h タ 沖縄島北 つ ĺ たが、 ・ンが確認 部 オ i ル 認さ 0 選

声とい

った先島

諸

島

0

各

口

力

Ĩ

ル

に

お

61

て保守

る 建設を容認する保守系 後の国政選挙の結果も1 スとは  $\Box$ 絵 明には、 参 た視 角 述した沖縄 が 候補 辺 必 同様 境 要に に支持が集まっ 0 の地理 島内 保守: なる。 化 前 0 基 とも ター 地 たのである。 所 在 17 ンを示し うべ 市 町 き 村 0 パ 7 そ ケ 夕 1/2

に

お

7

は

20 わ か

1

0

年

前

後

いから、

自治

体による自衛

隊

0 諸

誘

1

から

るように、

先島諸

なかでも八重

Ш

島

問題、 致活 防衛」 ナ海 77 7 動、 尖閣諸島が 太平洋 の強化を目指 17 る。 保守系首長 特に、 進 海域 出 重しており、 での の当 日 の警戒 本政 单 再 府 国 を強めるとともに、 漁 防 それと呼応する形で地 船 選 衝突事 (衛省) 育 鵬 は中 件 社 <u>ع</u> درا 公 民教科 玉 海 つ た事 南 軍 西 書 方政 採択 諸

続

宮古島市と本政府の 島諸島 置 では誘致の是非をめぐる対立も深まっ 0 れ を再び におい 要素とし 地政学」がある。 て新たな島嶼 て 場 所 中 0 政 国の軍事 治 )。与那国町を筆頭に、石垣市や欧衛体制を構築しようとする日 としてとらえるならば、 的 進出 の前 に位置 する先

所の 化や軍 れつつあることを示してい 感 覚 事化が進んでいるの と呼応する形で、 る は、 首長 そうし や住 た 民によっても 地

で過 な政 球 あ さ Ě れる必 L 治経 酷 玉 かし、この [な人頭税を課せられ 0 済的 時代からその 島 要 諸 が 島 位 あ は る。 「場所の感覚」 置 沖 縄 辺境の保守 版図 島 すなわ か るなど、 0 530 周 うち辺境が は、 辺にお 化 0 もう少し 政 km 性 治的 かか は 以 先 0 れ Ŀ 離 島 な中心であ 20 世 実証: つ 諸 n 0 島 7 紀初 様 お 0 的 b, に る沖 でも ク 検討 頭

			表 1 先島諸島における「辺境の保守化」					
年	月	日	関連する出来事					
2008	9	5	与那国防衛協会自衛隊誘致要請					
	9	19	与那国町議会自衛隊誘致決議					
2009	8	2	外間守吉(保守系)与那国町長再選					
2010	2	28	中山義隆(保守系)石垣市長に当選,革新系現職五選を阻む					
	9	7	尖閣諸島中国漁船衝突事件					
2011	8	23	教科用図書八重山採択地区協議会が育鵬社(フジサンケイグル					
			ープ傘下)公民教科書採択(竹富町教委反発)					
2012	12	16	衆院選で自民党勝利(政権復帰)					
	12	21	中山義隆『中国が耳をふさぐ尖閣諸島の不都合な真実』(ワニ					
2010			ブックス)刊行 「対象を経験という」					
2013	2	23	仲新城誠『国境の島の「反日」教科書キャンペーン』(八重山   日報社)刊行					
	6	1	口報(1./ 1913   八重山日報が本土の産経新聞と提携					
	8	11	八里山口報が平工の産粧利用と促物   外間与那国町長三選					
2014	3	2	7   11   7   7   7   7   7   7   7   7					
2014	3	31	中山石垣市及行送   中山石垣市長海上自衛隊練習艦隊の寄港歓迎					
	3	31	与那国町と沖縄防衛局の間で陸上自衛隊配備予定地貸借契約成					
	3	31	立					
	6	6	竹富町教委が教科用図書八重山採択地区協議会から離脱					
2015	2	22	与那国町陸上自衛隊配備住民投票で賛成多数					
	7	8	宮古島市議会陸上自衛隊早期配備陳情書採択					
	10	26	石垣島自衛隊配備推進協議会発足					
2016	3	28	陸上自衛隊与那国沿岸監視隊配備開始					
	4	20	「有人国境離島法」成立					
	6	20	下地敏彦宮古島市長(保守系)陸上自衛隊配備受入表明					
	8	28	西大舛高旬 (保守系) 竹富町長に当選, 革新系現職三選阻む					
	12	26	中山石垣市長陸上自衛隊配備受け入れ表明					
2017	1	22	陸上自衛隊配備容認の下地宮古島市長三選					
	8	6	保守系同士の与那国町長選で外間四選					

出典:著者作成.

うに、 が高く、 では離 意 るのに対して、 問題解決の優先度が高 と考えられる。表2からわかるよ 県施策の優先度に差異を生み出す 各島・島内地域の住民が期待する 識 さらに、こうした県内格差 0 島 構造、 沖縄島内地域では米軍基地 これらの島々の間で住民 過疎地域 つまり 宮古 振 興 1/2 場 重 傾向 の優先度 所 Щ 0 語島 に 感

島諸 苦 に直面してきた。 島 ほ か 離島の多く は 島ちゃ Ŭ (離

活

挙区選挙 統計的にみると、201 の場合 (口絵参照)、 6年に実施され 保守系候補 の得票率と比 島性による生 た参議院沖

な負の相関を有する。

つまり、

先

年)

が有意

人口増加率

相関する社会経済的指標

(標本

る傾向が確認される。

少が進む自治体ほど保守票が伸び

島諸島や離島部を中心に、

人口

減

地 90 0 縄 島

を抱えながらも経済的発展を享受してきたのに対

|%以上が沖縄島に集中し 社会経済的格差は残存

ている。

島が米軍基

先

からの支配を受けた。

その後も沖縄島と先島諸

島 0

間

現在でも140万強の県民の そして沖縄

覚

が

強

4

コ

ン

ともに、

2010年代に進んだ沖縄島

中心

の県政運営

(米

表 2	表 2 沖縄県民による地域別重点施策の優先度(2012, 2016年)							
地域		米軍基地問題の解決促進 2012年 2016年		離島・過疎地域等の振興 2012年 2016年				
沖縄島	北部 中部 那覇市 南部	10.7 12.7 11.2 13.9	12.6 13.0 12.5 13.0	5.1 1.2 1.4 2.8	0.9 1.0 2.1 2.7			
宮古 八重山	113 111	4.9 5.8	4.4	7.0 15.8	14.0 18.5			
県平均		11.9	12.2	2.8	2.7			

注:各スコアは回答者が選んだ上位3つの施策にウェートをかけた平均値. 出典:沖縄県企画部『第8回県民意識調査報告書』(2012),同『第9回県 民意識調査報告書』(2016), いずれも http://www.pref.okinawa.jp/site/ kikaku/chosei/kikaku/isikityousa.html (2018年1月15日閲覧)

デー

タか

5

辺境の保守化

かる。

これら2つの

ていることがわ

ここに現沖縄県政の隠された課題が存在すると言えよう。

トラスト

を示し

軍基地

問題偏重)

に対する批判とも解釈できるのである。

らず、 会経済的格差を 県 芮

置

0

評

や変

古典地政学の効用

が環境決定論的

な

わ

かりやすさ」に

地政

学的

位

用

いた。

沖縄や先島諸島 できる。それは 推定することが のメカニズムを

容の結果

0 価

みな

. の社

島防衛という 首長や 種の地域振興策と考えること 辺境 の自治体による自 有 地政学」 権 者の政 に沿っ 治的 選 た、 衛隊 択の

が

ができる。

住民の投票行動はそれを支持する傾向にあると

あるいはそれを先取りした一

誘致政策とは、

南西諸

結果とも考えられる。

つまり、 . う

何

埤

め合わせるかとい

地政学」をとらえ直す

そしてこの スケー りわけアグニュ 的 実践」と再定義し、 本稿では ルの政治 理論 地 1 政学」 を沖縄県政 経済的秩序を示す概念としてとらえ直した。 Ó を「 場所の政 マルチ・ 土地の支配や管理をめぐる政 の動態を理解する枠組みとして 治 スケールの 論に基、 )政治: づ き 地理学、 マクロ

なアプローチである。 構成する人間の主観性 りにせず、それを超えて広がる政治経済的 うとする点に特徴がある。 要素から構成される地方政治の複雑さそれ自体を理解 あるとすれば、 「場所の政治 から政治の地域性を解明する包括的 この 論 視角は、 は 7 ル 国家や地方を一括 チ・ 過 程 ス ケー そ しよ れ ル 0

な影響を及ぼし、 沖 縄 の例が示すように、 住民の運命を翻弄する。 玉 家の 地政学」 そして住民の政 は地方に大き

治的行動は地方や国家を揺るがしうる。戦後の政治地理学治的行動は地方や国家を揺るがしうるのは、過去への回帰てきた。現在の「地政学」書には、こうした戦後の政治地理学の学問的営為を踏まえず、戦前の地政学論の現代的効用を説くものが少なくない。かつて「地政学」を生み出した政治地理学が現代社会に貢献しうる。戦後の政治地理学ではなく、新たな視角からの「地政学」のとらえ直しではなく、新たな視角からの「地政学」のとらえ直しではなく、新たな視角からの「地政学」のとらえ直しではなく、新たな視角からの「地政学」のとらえ直しではなく、新たな視角からの「地政学」のとらえ直しではなかろうか。

## 52

- (1) Agnew, J. A. (1987): Place and Politics: The Geographical Mediation of State and Society, Allen & Unwin. p. 5.
  山崎孝史(2013)『政治・空間・場所―「政治の地理学」にむけて山崎孝史(2013)『政治・空間・場所―「政治の地理学」にむけて
- (2) 感情の構造とは、具体的な日常の実践から生み出され、「特定の時間(2) 感情の構造とは、具体的な日常の実践から生み出され、「特定の時間(2) 感情の構造とは、具体的な日常の実践から生み出され、「特定の時間(2)感情の構造とは、具体的な日常の実践から生み出され、「特定の時間)
- (3) 米軍の沖縄統治機関(USCAR)の民政副長官であったデヴィッド・オグデン陸軍少将が以下の記事で最初に用いた。Ogden, D. (1954): Keystone of the Pacific. Army Information Digest, 9(1), pp. 42–48.
- 前掲(1)山﨑、184―185頁
- (5) 前掲(1)山﨑、190-191頁。
- (6)現日本政府の沖縄の地政学的「位置」に関する認識は、かつての「太

らに、 go.jp/hakusho\_data/2011/2011/html/n3213000.html(2018年1月15 沖縄に駐留する米軍は迅速に対応することができる。また、わが国の周 やハワイ、グアムなどに比べて東アジアの各地域と近い位置にある。こ ら毎年、 平洋の要石」をほぼ踏襲している。 日閲覧) など、安全保障上極めて重要な位置にある」。http://www.clearing.mod 辺諸国との間に一定の距離があるという地理上の利点を有している。さ のため、この地域において部隊を緊急に展開する必要がある場合には、 南西諸島のほぼ中央にあることや、 以下のように在沖米軍の意義を強調している。 防衛省は わが国のシーレーンにも近い 『平成23年版防衛白書』か 「沖縄は、

- (7) 前掲(1) 山﨑、174―177頁。
- (8) 前掲(1)山﨑、115―119頁。
- (9) 山崎孝史(2014)「国家の「中心」と「周辺」―政党対立からみ、(9) 山崎孝史(2014)「国家の「中心」と「周辺」―政党対立からみuser/yamataka/synodos20141220.pdf(2018年1月15日閲覧)
- hakusho\_data/2010/2010/html/mc221000.html(2018年1月15日閲見状」として宮古島以西を「防衛上の一種の空白地域」と位置付け、新現状」として宮古島以西を「防衛上の一種の空白地域」と位置付け、新現状」として宮古島以西を「防衛上の一種の空白地域」と位置付け、新現状」といる。
- 11) 相関係数 0.486、有意水準 p<0.01。
- 岩下明裕編『日本の「国境問題」』所収、藤原書店、242-256頁。る。外間守吉(2012)「与那国町の将来展望―人口増加という課題」、2)与那国町長による以下の論考にはそうした考え方が端的に示されてい

版]](ナカニシヤ出版、2013年)。 究。主な著書に『政治・空間・場所―「政治の地理学」にむけて[改訂究。主な著書に『政治・空間・場所―「政治の地理学」にむけて[改訂米国コロラド大学地理学部大学院修了、Ph.D.、専門は政治地理学、沖縄研やまざき たかし・大阪市立大学文学研究院教授 1961年京都市生まれ。